

1 国語

科目名	現代文B	単位数	4	学年	第学年	科 コース	普通科
					第2学年		一般教養コース
使用教科書	明解 現代文B			副教材			

学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

学習計画

	月	単元	学習内容及びねらい
一 学 期	4	基礎力診断テスト 随想「待つということ」	<ul style="list-style-type: none"> 異文化とのふれあいについて書かれた文章を読んで、人と人との関わりについて考えを深めさせる。 二つの体験をとおして語られる筆者の思いを読み取らせる。 社会の変容に伴う人間関係の変化と、時代を超えた信頼や友情について考えを深めさせる。 登場人物の関係を捉え、それぞれの言動の背後にある心の動きを読み取らせる。
	5		
	6	中間試験 小説「ナイン」	
	7	↑ 期末試験 ↓ 夏期休業	
二 学 期	9	基礎力診断テスト 小説「神様捜索隊」	<ul style="list-style-type: none"> 「神様捜索隊」にまつわるそれぞれの人物の様子から、人間同士のつながりや幸せについて考えさせる。 できごとの展開をふまえ、その状況や人物の心情を捉える。 人間社会の中で「最初のペンギン」とは、どのような存在なのかを考えさせる。 「最初のペンギン」の行為を元に展開される論理を読み解き、人間社会や自分自身にあてはめ、考えさせる。 人間は不確実な状況で、判断を下す時に感情にささえられた直観に従うことや、乗り越えるために感情の技術を磨く必要があることを、理解させる。
	10	中間試験 随想「最初のペンギン」	
	11		
	12	↑ 期末試験 ↓ 冬季休業	
三 学 期	1	↓ 基礎力診断テスト 随想「春の小川の思い出」	<ul style="list-style-type: none"> 幼い頃の思い出をとおして描かれる、友達との交流の様子を読み取らせる。 できごとの内容を整理しながら、それぞれの場面での心情を捉えさせる。
	2		
	3	学年末試験	

学習評価

1. 定期試験・小テスト・課題の提出状況・授業態度などを総合的に評価する